

製品名: APG5L (8F1) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03559**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 32 kDa; Observed MW: 55 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATG5
別名	APG 5L; APG5; APG5 autophagy 5 like; APG5 like; APG5-like; Apoptosis specific protein; ASP; ATG 5; ATG5 autophagy related 5 homolog; Autophagy protein 5; hAPG5
遺伝子 ID	9474
SwissProt ID	Q9H1Y0
免疫原	ヒト APG5L/ATG5 の合成ペプチド

背景

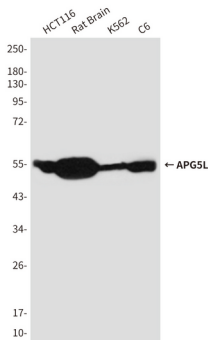
オートファジーに必須。ATG12 と共役し、隔離膜と会合してカップ型の隔離膜とオートファゴソームを形成する。酸化ダメージ後の

ミトコンドリアの品質管理、そしてその後の細胞寿命に関与する。

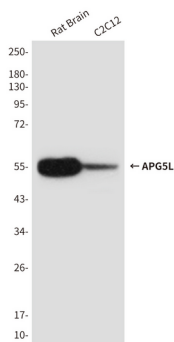
研究分野

細胞生物学

画像データ



Atg5 抗体を使用した HCT116、ラット脳、K562、C6 溶解物中の Atg5 のウエスタンブロット分析。



Atg5 抗体を用いたラット脳および C2C12 溶解物中の APG5L (8F1) のウエスタンブロット分析。